

## ～チャレンジ事業審査委員会委員からの講評コメント～

団体名：房総アワビ移民研究所

■3年間の最終年度の報告ですが、初年度に台風被害で貴重な古文書が大きな被害を受け、その後もコロナ禍に見舞われました。その中で見事に調査報告書を完成させました。更にオンラインで海外との交流を進め、展示会や見学会などを通じて地域へも漁師文化を紹介していただきました。これらは今後もシビックプライドの醸成に繋がるものと思います。

■台風被害にもあきらめず、たいへん夢のあるユニークな取り組みを熱意をもって活動されていることが伝わりました。

古文書を読み解き、時代背景を調べ、更に渡米先の米国の方との交流も図られるなど活動の広がり強く感銘を受けました。

更なる活動と今後の展開を期待しています。

■古文書研究を通していままで埋もれていて知られていなかった房総アワビ移民の歴史が解明されつつあることは地域文化継承においても貴重な取り組みであると思います。チャレンジ事業の助成が終わったのちも、古文書解明・調査を市民の支援を得て継続していただけるよう念じています。そのためにも、もっと広くこの活動報告を観光協会とも連携して、広報していくのも一つの方法ではないでしょうか。

■地道な調査活動だと思いますが、市民への次の展開も考慮していくことを希望いたします。

■台風での被災もあった中で、チャレンジ事業での研究活動は、『房総アワビ移民』の歴史を紐解くうえでも貴重な研究であったと思います。また、歴史文化の普及にも努めていただきありがとうございました。